

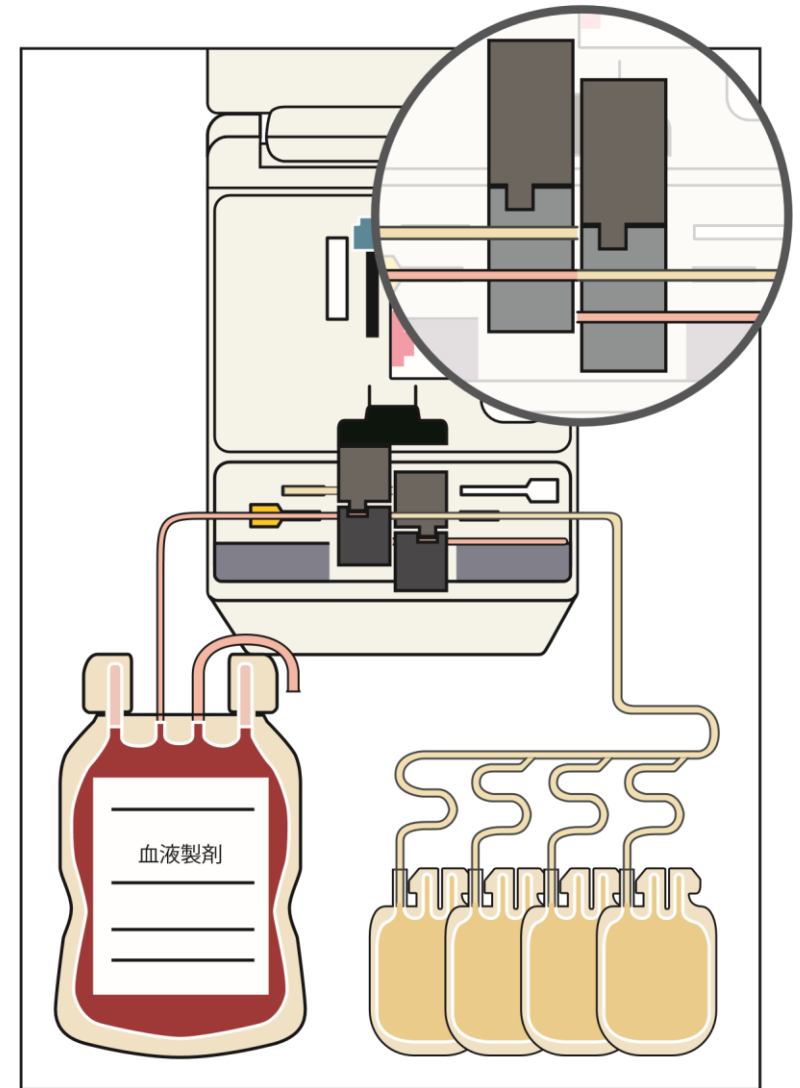
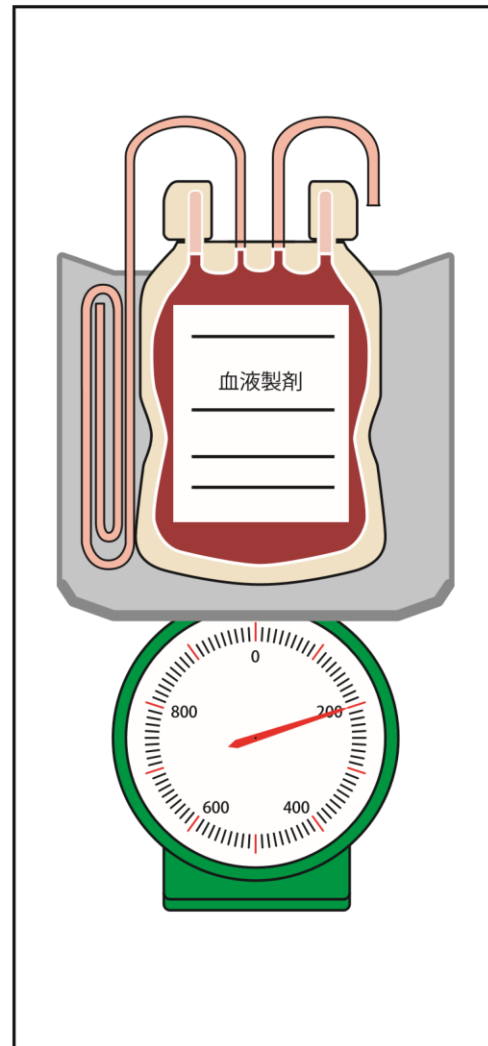
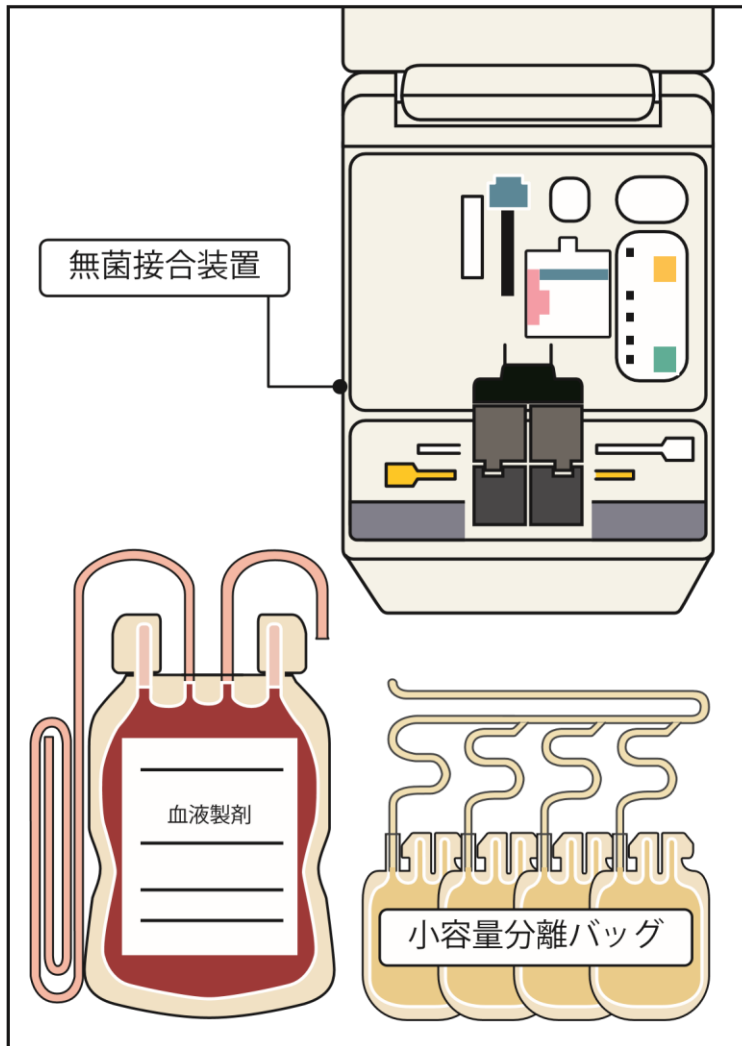
# 分割手順

正しく分割する方法を示す

日本輸血・細胞治療学会

# 製剤分割手順

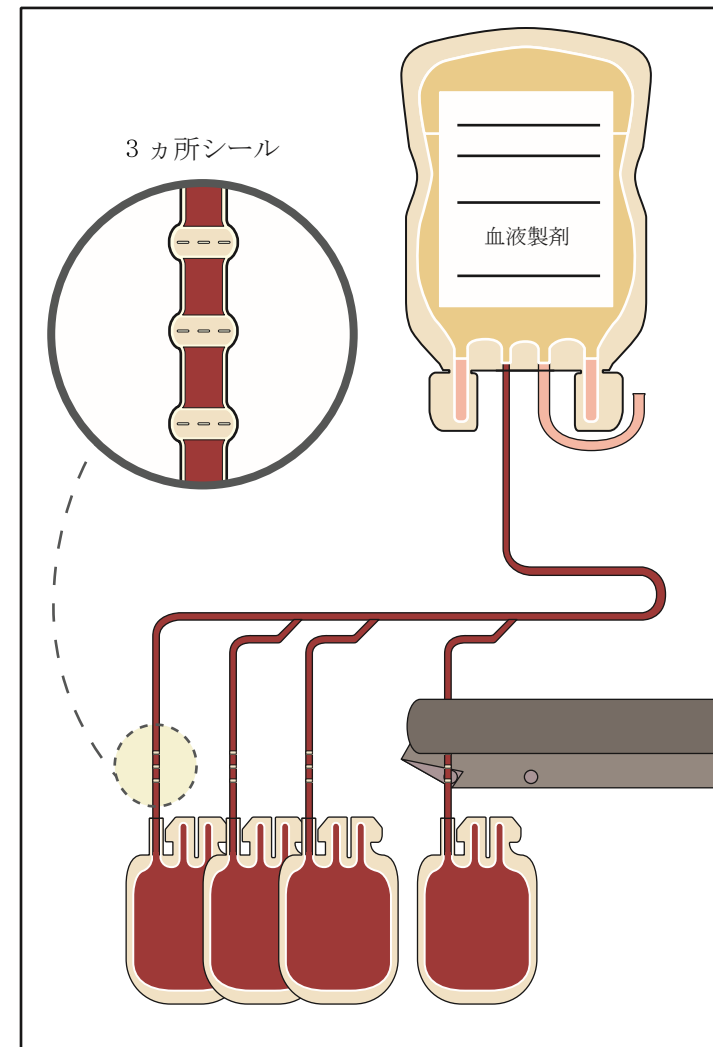
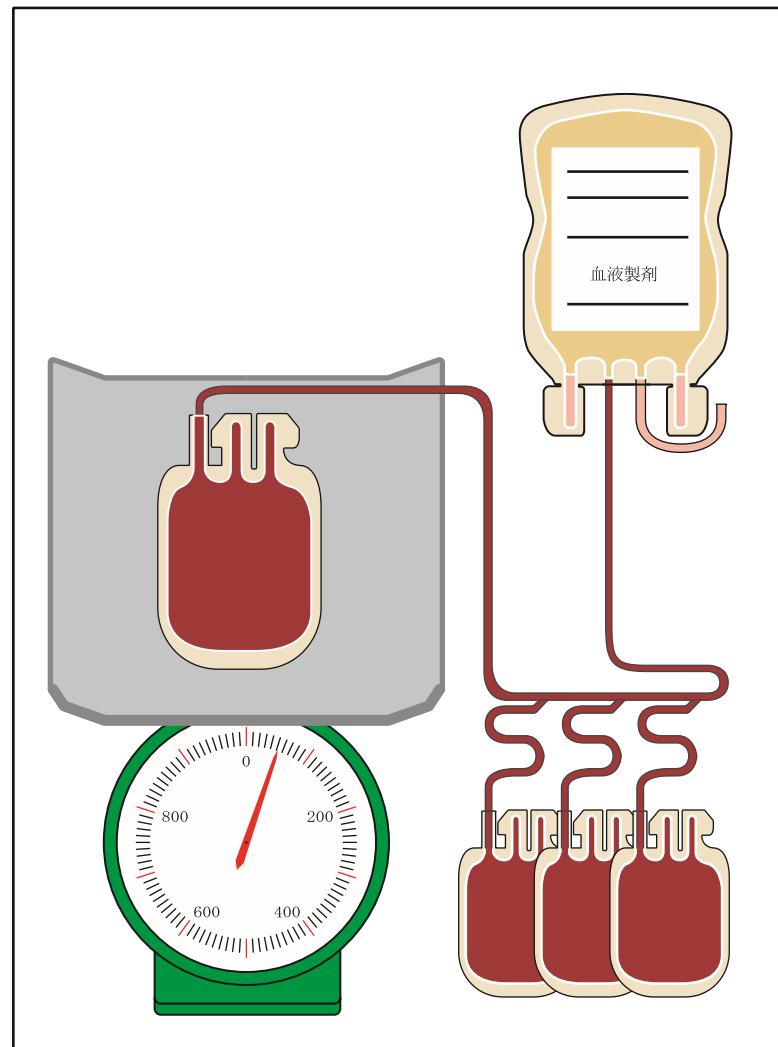
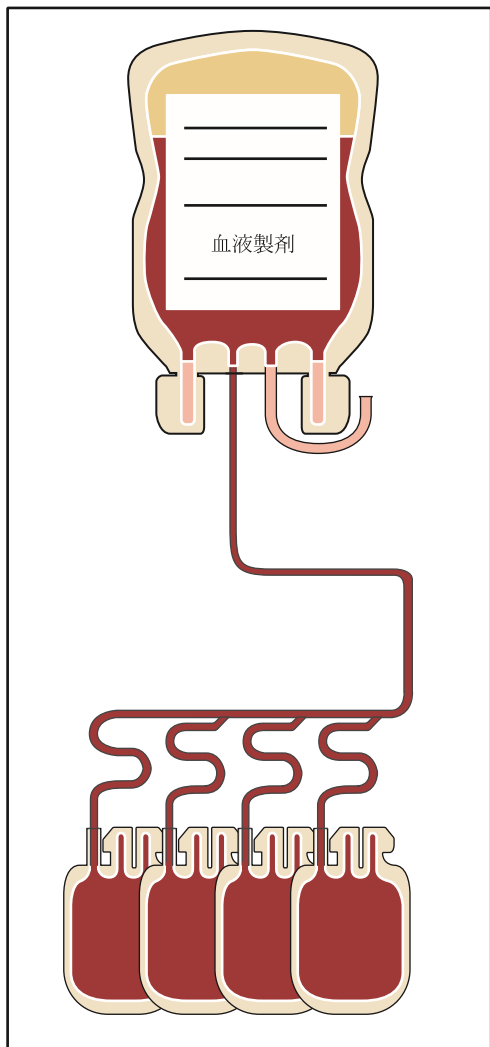
1 単位 4 分割の例



① 分割する製剤や分割数によってバッグを選択

② 製剤重量計測

③ 無菌接合装置で接続



④ 分割バッグへ移動

⑤ 分割製剤重量計測

⑥ シーラーで3か所シール

ラベル貼付時の  
元ラベルとの  
照合確認が重要!

The diagram shows a large bag labeled '血液製剤' (Blood Product) connected to four smaller bags. Below it is a screenshot of a software interface for processing. The interface shows a 'ロット番号' (Lot Number) field with 'XX-XXXX-0001' and a '分割数' (Division Count) field with '4'. A table lists the resulting units:

SEO	ロット番号	単位	容量	血型	有効期間	コメント
1	XX-XXXX-0001	200ml	35	A型		
2	XX-XXXX-0002	200ml	35	A型		
3	XX-XXXX-0003	200ml	35	A型		
4	XX-XXXX-0004	200ml	35	A型		

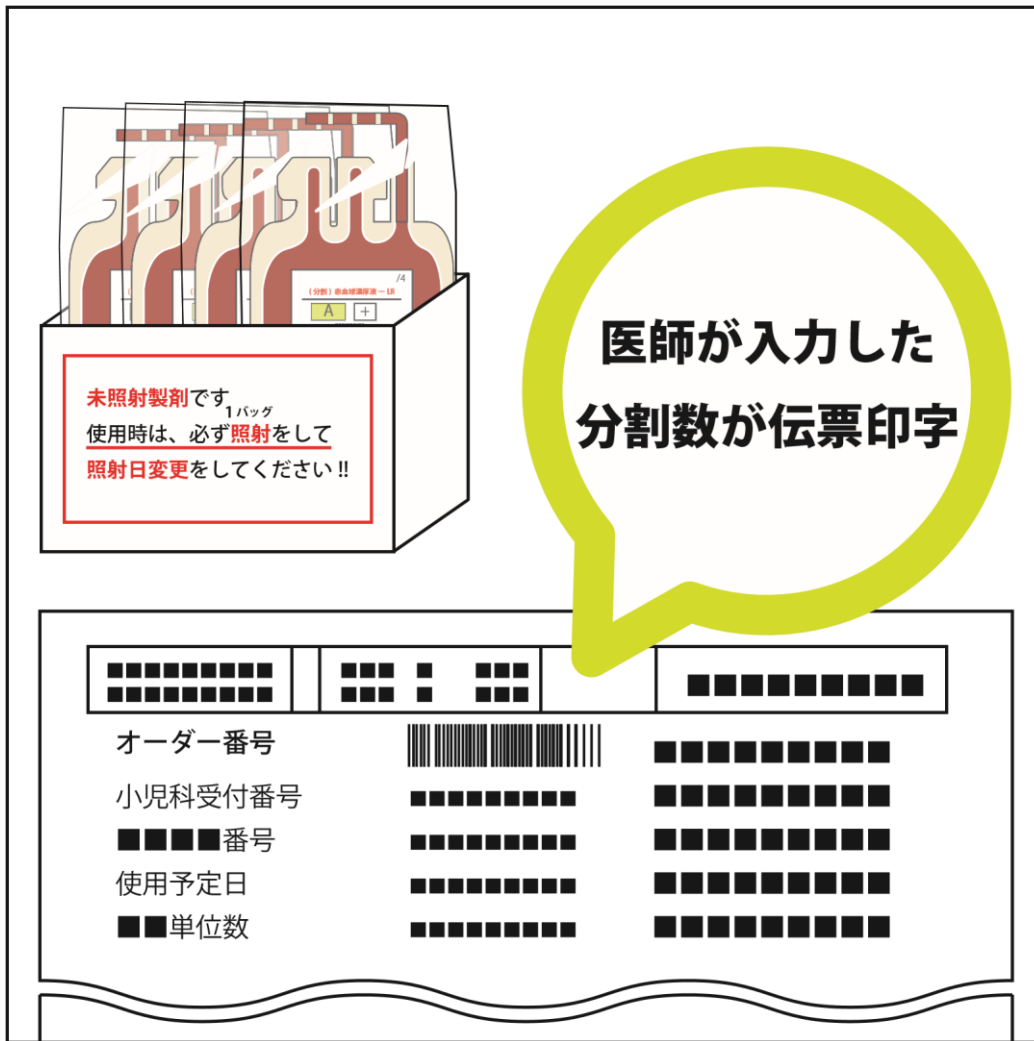
At the bottom of the interface, there is a prompt: '分割量を入力してください' (Please enter the division amount) and a '閉じる' (Close) button.

⑦ 輸血システム製剤分割処理：元製剤ロット番号  
・分割数を入力し、分割製剤ラベルを出力

The diagram shows the same setup as in step 7, but now the smaller bags have labels. Below are four detailed views of these labels, each corresponding to a division (4/4, 3/4, 2/4, 1/4):

- 4/4:** (分割) 赤血球濃厚液 - LR. A+, 製造番号 XX-XXXX-000104, 容量 約 35ml, 1 単位 4 分割, 有効年月日 20XX 年 XX 月 XX 日
- 3/4:** (分割) 赤血球濃厚液 - LR. A+, 製造番号 XX-XXXX-000103, 容量 約 35ml, 1 単位 4 分割, 有効年月日 20XX 年 XX 月 XX 日
- 2/4:** (分割) 赤血球濃厚液 - LR. A+, 製造番号 XX-XXXX-000102, 容量 約 35ml, 1 単位 4 分割, 有効年月日 20XX 年 XX 月 XX 日
- 1/4:** (分割) 赤血球濃厚液 - LR. A+, 製造番号 XX-XXXX-000101, 容量 約 35ml, 1 単位 4 分割, 有効年月日 20XX 年 XX 月 XX 日

⑧ 元製剤と接続した状態で分割ラベルを貼付



⑨分割バッグ（小バッグ）は使用時まで元バッグと接合したまま保管するか、分割バッグ（小バッグ）とその由来となった元バッグがほかの患児に分割した分割バッグ（小バッグ）と混在しないように（患者毎に容器に入れる等して）安全に管理する。

## カリウム吸着フィルター使用における基本的な考え方

初流80mL(生理食塩液込み)は廃棄する

廃棄を見込んだ  
血液量で  
分割しておく

カリウム吸着  
フィルター

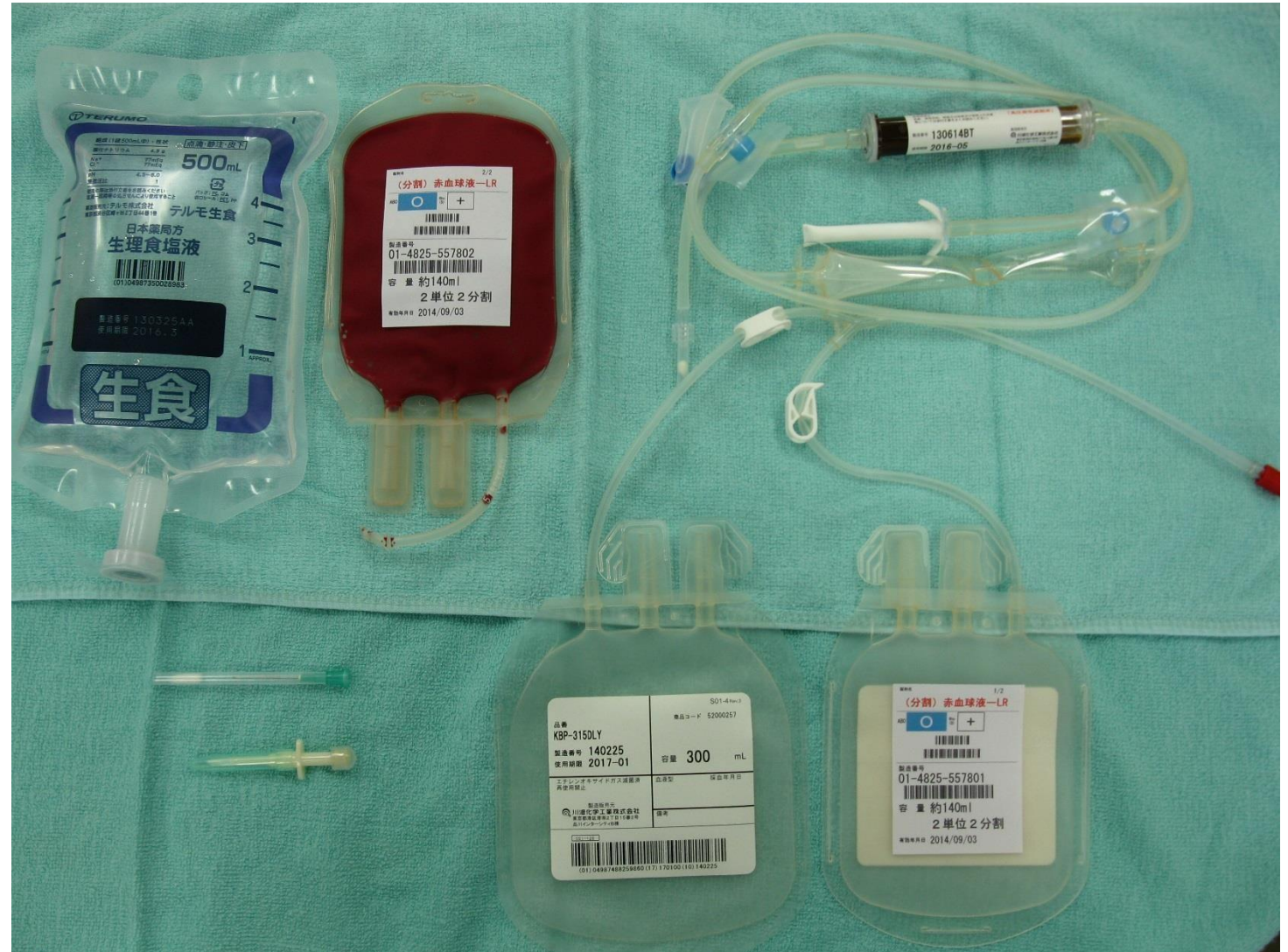
注射器あるいは分離  
バッグの血液を輸血

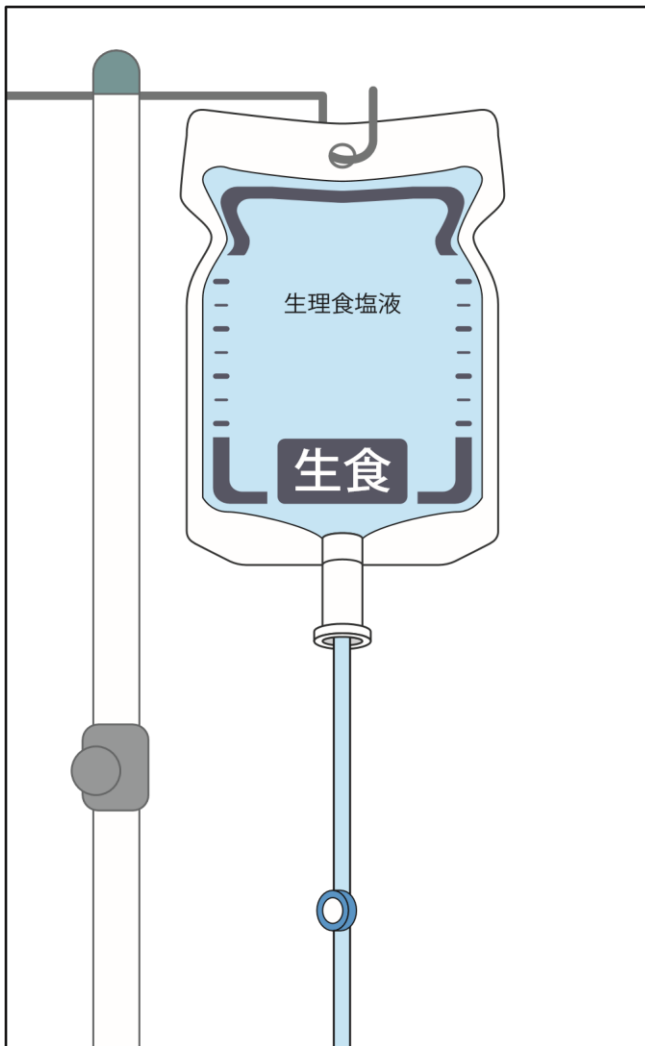
分割赤血球液量 = 輸血量 + 初流廃棄量

血液量に応じて、フィルターを選択  
通常は1単位用となることが多い

## 【用意するもの】

- カリウム吸着フィルター  
(小容量用)
- 生理食塩液
- ルアー針
- 分離用バッグ  
**KBP-315DLY**
- 操作アダプター
- 分割赤血球液

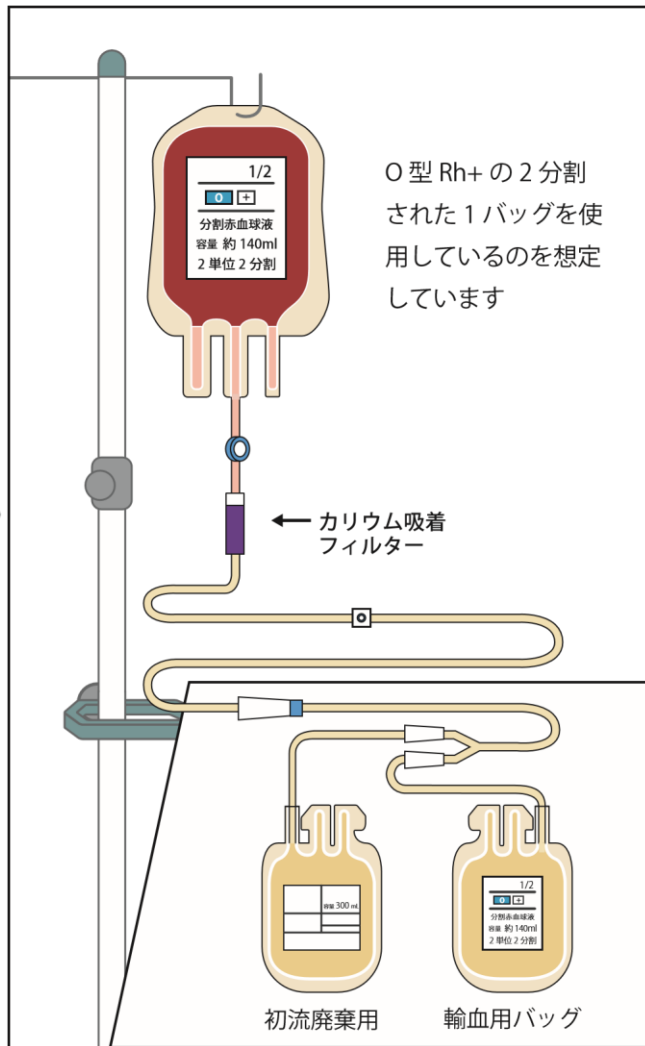




① 生理食塩液でカリウム吸着フィルターをプライミングする。

カリウム吸着フィルターの充てん液を生理食塩液で洗い出し

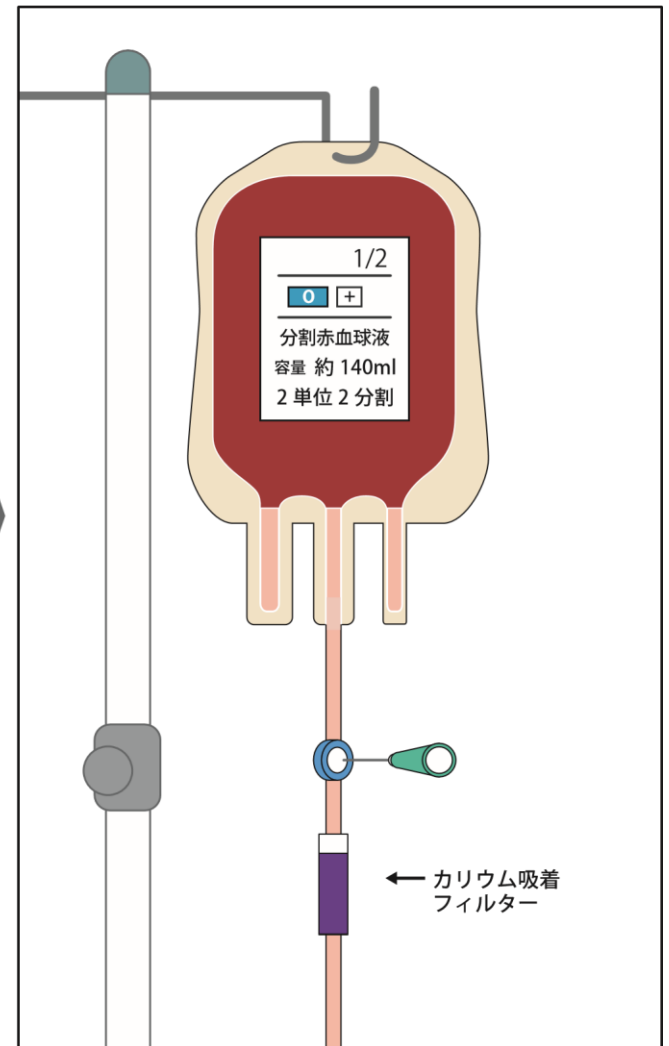
カリウム吸着フィルター内を生理食塩液で充たすようにする。



② 分離バッグをセッティングする。

1つを初流廃棄用

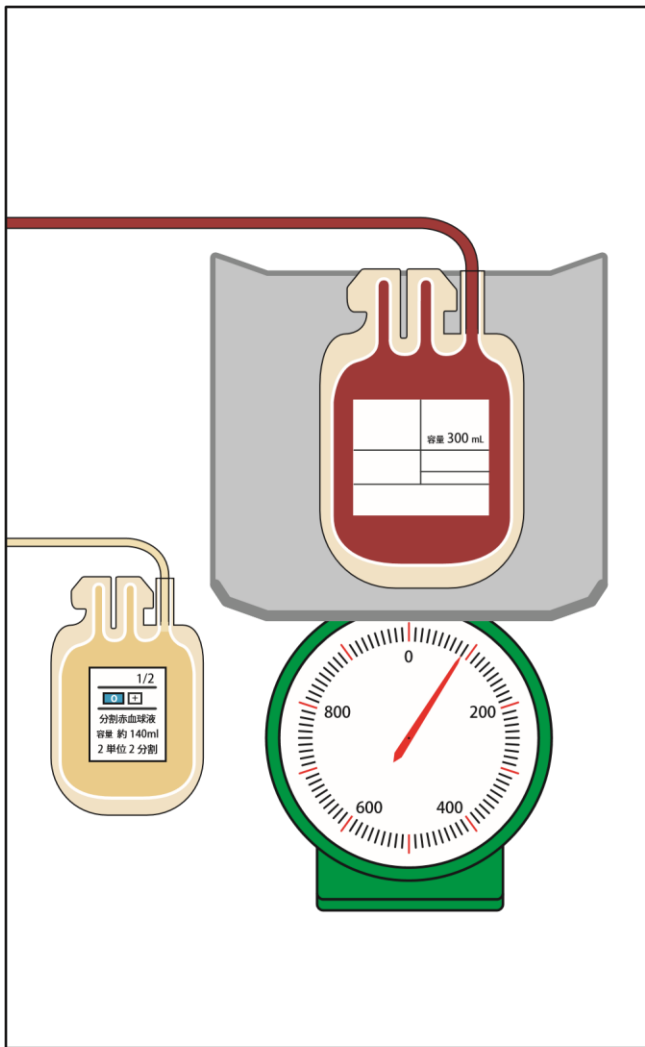
1つを輸血用バッグとする



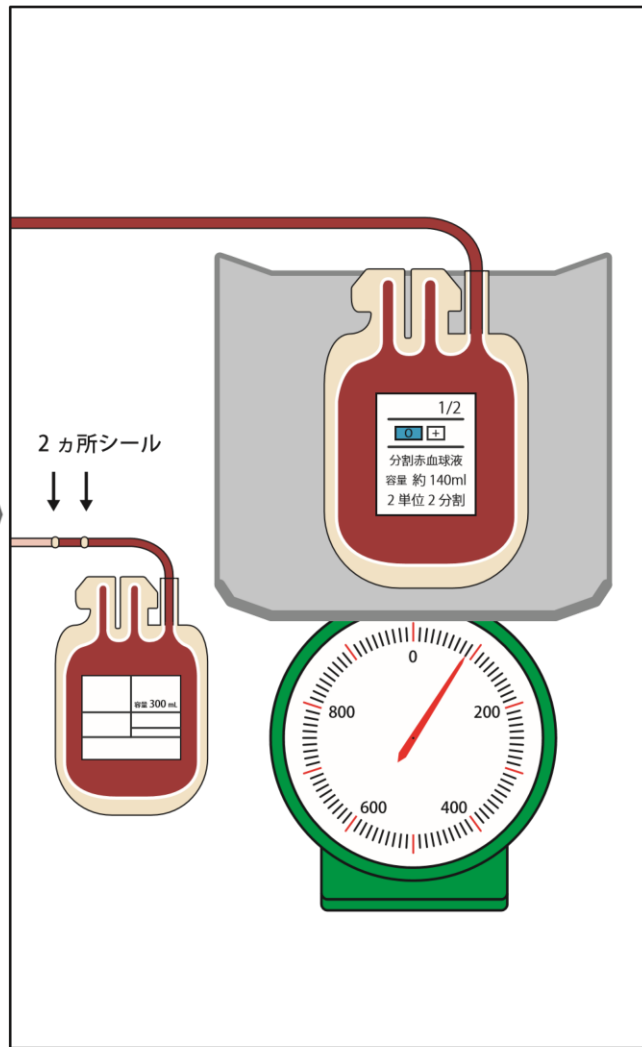
③ フィルター付きルーラー針で穿刺する

ルート内に残りやすい血液を回収するために使用

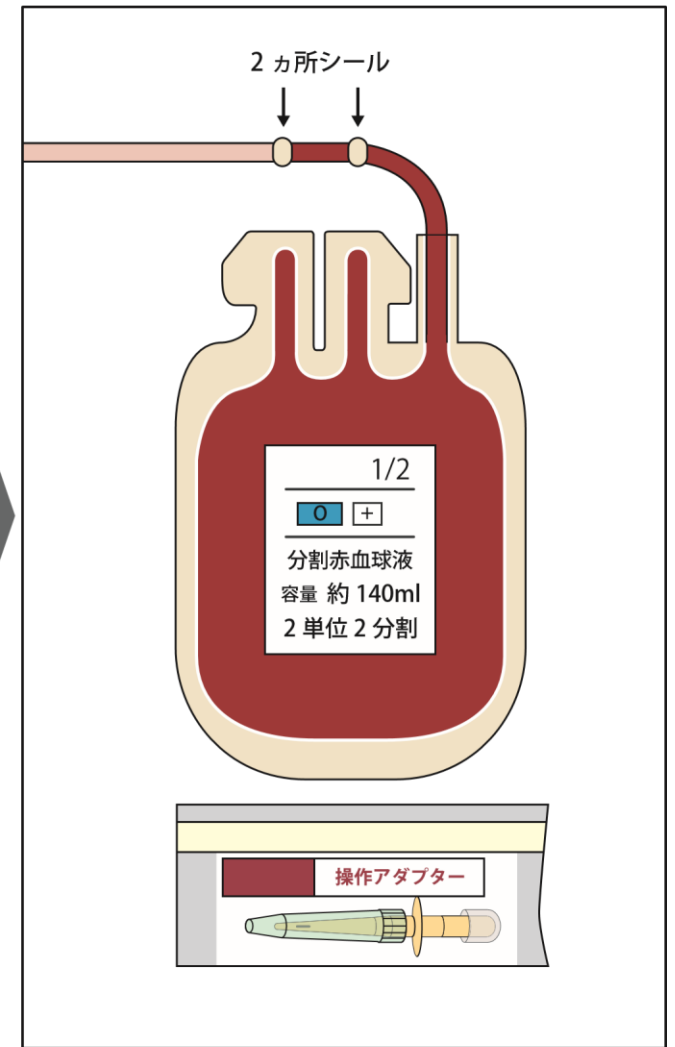




④ 初流廃棄80 mLを廃棄用バッグに注入



⑤ 残血液を輸血用バッグに注入



⑥ 輸血用バッグにはラベルを貼付する  
この血液は輸血フィルターも通過したものであるため、操作アダプターを介して注射器に輸血する血液を注入する。分離バッグを使用しない場合は、カリウム吸着フィルターの出口に三方活栓を使用して、注射器などで初流廃棄することになる。